

平成 22 年度 第 2 回医学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

I. 日 時： 平成 22 年 9 月 25 日（土）13：30 から 17：00 まで

II. 場 所： 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者： 内山隆久（委員長）、福島 統（慈恵医大）、松本俊治（順天堂大）、鈴木雅隆（昭和
大）、中木敏夫（帝京大）、吉岡俊正（女子医大）、渡辺 淳（関西医大）
事務局 井端事務局長、森下主幹、平田職員

IV. 議事概要

1. 学士力実現に必要な ICT 活用の具体的な検討について

- 資料①-1、2 をもとに、学生一人ひとりへの質的評価（学外実習での立ち居振る舞いに関する記載評価など）を経時的に集積しポートフォリオ評価を作る例が紹介された。学生の立ち居振る舞いの教育として、学生カルテ、教務委員会での担任制度、学生アドバイザーの例が各委員から紹介された。学生の質的評価集積には、個人情報との兼ね合いから、どこまで集めるかが問題となる。
- 資料①-3 をもとに委員から、遠隔指導についての例が紹介された。学外に出ていく学生に PC を持たせ、地域にいる学生と大学とがいつでの連絡ができ遠隔指導を行う。金沢工業大学では成果が出ている。そのためには学生全員が PC に関するリテラシーを持っている必要がある。遠隔指導は医学部では地域医療実習（学生、研修医）で活用できる。学生のモチベーションやグループ学習のための準備教育としては、ICT は必ずしも有力なツールにはならない。
- 資料①-4 をもとに委員から、学外実習における遠隔指導支援として、学生間および学生教員間のコミュニケーションツール、履修項目のポートフォリオ、映像を含んだ教材の配信、Web 会議システムでの討論学習などの紹介があった。Web 会議システムでのロールプレイの事例も紹介された。学生のモチベーションに関しては「病院バックヤードツアー」の紹介があった。
- 資料①-5 をもとに委員から、遠隔支援としての ICT 支援システム（4 つのキャンパス間をつなぎ、学生、教員、職員との連絡網を作っている）、テレビ会議システム（授業にも用い、学生の質問を受けるなど）、e-Learning（国家試験問題の配信など）の例が紹介された。グループ学習にテレビ会議システムを用い、遠隔 PBL も行っている。

2. 分野別情報教育の整理について

- 資料②をもとに、医学教育における情報教育（中間まとめ）の訂正を行い、最終案を作成した。最終案は事務局により電子データとして保存された。

3. 今後の検討スケジュール、および課題について

- A4版2枚程度で、学士力実現のための授業実践事例を作成することとなった。事例は現在実践されている必要はないが、実現可能なものである必要がある。
- 本日の資料①をもとに、報告書に乗せるための実践例を、3例作成することとなった。なお、この実践例がガイドラインに沿っている必要はない。11月12日（金）までの宿題とする。

4. 次回委員会

開催日は、11月18日（木）14:00から16:00である。